

番号	7 - 4	申請者	診療放射線技師長 岡原 継太
<p>【審査申請課題】</p> <p>タスクシフトシェアによる診療放射線技師の業務拡大に伴う医療安全の確保 ：戦略的手法による危険予知トレーニングシステムの開発</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>業務拡大において、造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針および止血する行為。RI検査のためにRI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為。動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為。下部消化管検査のために、注入した造影剤及び空気を吸引する行為。上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を実施している九州地区の独立行政法人国立病院機構病院および療養所施設の診療放射線技師から、業務拡大における医療安全上の問題事例やインシデント事例をWeb形式で収集し、収集した事例をもとにWeb形式のKYT（危険予知トレーニング）教材を作成する。教材には事例の写真や動画を使用し、危険ポイントや対策を示す内容を盛り込み、学習者が事例に対する意見を入力し、危険の本質や対策を比較できる仕組みを構築する。作成した教材を対象施設の会員に配信後KYTを実施し、医療安全意識の変化や教材の有用性について調査する。調査で得られたデータを多変量解析により要約し客観性のある評価を行い学習効果について把握する。</p>			
審査結果	承認 （ 令和7年4月24日 ）		